

## 2019年度第7回価格審査会の開催について

2019年度第7回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2019年10月15日(火) 13:00 ~ 14:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター コリンズ・テクリスセンター長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
当 会	共通資材調査部	次長：川野辺 豊、課長：康広 誠己
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019年度第6回価格審査会議事録(案) 確認

2019年度第7回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」11月号、「Web 建設物価」11月号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、伸銅品(全都市)、セメント(バラ)(福井、北九州、長崎)、レディーミクストコンクリート(函館、稚内、士別、富良野、二戸、八幡平B、岩泉、大仙、千葉、新潟、飯塚、佐賀、唐津、伊万里、武雄、鹿児島、日置)、再生砕石類(会津若松、喜多方)、PHCパイプ(四国の各都市)、舗装用石灰石粉(近畿の各都市、高松、松山、高知)、自由勾配側溝(横浜)、燃料油【経由ローリー渡し】(全都市)、鉄スクラップ【ステンレス】(東北、北陸、中国、沖縄を除く各都市)、非鉄スクラップ【銅】(札幌、仙台を除く各都市)などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、異形棒鋼(九州を除く各都市)、H形鋼(北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、四国、沖縄の各都市、岡山、広島)、コンクリート型枠用合板【塗装品・輸入品】(北海道、関東、北陸、中部、近畿、中国、沖縄の各都市)、ストレートアスファルト(沖縄を除く各都市)、鉄スクラップ【鉄】(全都市)、非鉄スクラップ【アルミ】(札幌、東京、新潟、名古屋、大阪)などであることを説明。
2.	注目資材
・	レディーミクストコンクリート【新潟】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	鉄スクラップが下落傾向を示しているが、今後の見通しはどうか。	需給・価格動向は、国内市場、輸出市場ともに低迷が続き、まだまだ底が見えない状況にある。先行きも弱含みの見通しである。
審議 2	鉄スクラップの輸出先はどこか。	2018年でいうと、韓国、ベトナム、中国の順である。
審議 3	建設資材で、消費税増税前の駆け込み需要はあったのか。	土木・建築分野とも建設資材の価格動向に影響するような駆け込み需要はみられなかった。
審議 4	東京オリパラ期間を避けるため、生コンの前倒し発注があると新聞に報道されていたが、実際にあるのか。	東京オリパラ期間中の交通混雑への対応が建設業界にとって課題となっており、一部の大手ゼネコンが生コン打設をGW期間中などに前倒す案を検討していると聞いている。
審議 5	コンクリート製品の「協組やメーカーの値上げが浸透し、上伸」というコメントについて、需要はそれほど伸びていないとの説明があった。値上げの理由はなにか。	原材料費や輸送費、人件費などの製造コストの上昇が値上げの主な理由である。
審議 6	新潟地区の軽量コンクリートの「協組の値上げが浸透し、上伸」というコメントは、生コンと同じ内容と考えて良いか。	同じと考えて良い。
審議 7	軽量コンクリートは、生コン工場で一般的に供給されているのか。それとも一部の生コン工場でしか供給できないのか。	全ての生コン工場が供給できるわけではない。新潟地区の場合、JIS認定を受けた協組のプラントが供給している。
審議 8	主要建設資材の需給及び価格動向では、那覇地区の軽油価格が他地区に比べて高い水準で推移している。これは沖縄県に石油精製施設がないためか。	軽油は、沖縄県には石油精製施設がないため本土から輸送されてくる。輸送費がかかるため価格は高くなる。
審議 9	海外資材アクセス情報に輸出に関連する情報はないのか。	輸出に関する情報は掲載していない。輸入品のみを掲載している。
審議 10	韓国が鉄スクラップを日本から輸入する理由は、韓国内だけでは賅えないためか。また、鉄スクラップを日本から輸入して国内で製造した製品を日本へ輸出するという構図か。	韓国では、国内で発生した鉄スクラップで必要量を賅えないため、日本などから輸入している。この輸入した鉄スクラップなどで製造した韓国産の鋼板、形鋼など鋼材の一部が日本などに輸出されている。
審議 11	鋼材の輸入品は、店売りされるのか。	鋼材の輸入品は、特定の工事などで必要が生じた場合に、ゼネコンによって商社を通じて海外から調達されており、店売りされることは少ない。現状では、輸入品は国内品に比べて若干安い傾向にあるが、為替や相場の変動などによって逆転することも考えられる。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 13	新聞によると、ここにきて電炉メーカーが鋼材価格を鉄スクラップの値下がりを受けて下げたとしている。また電炉メーカーは、市中の需要に合わせて価格を引き下げたともコメントしているが、実際はどうか。	鋼材の下落は、原料の鉄スクラップ価格の下落により需要家の値下げ要求が増したこと、需要低迷による販売店間の競争が激化したことが主因であり、どちらの影響が大きいかは何とも言えない。
審議 14	鉄鉱石や原料炭価格は高い水準のままだが、鋼材価格は下がっているため、高炉メーカーは苦しい状況にあると報道されている。高炉材の現状はどうか。	中国の市場動向が鉄鉱石や原料炭価格に影響している。鉄鉱石や原料炭の先行き価格は、中国経済の低迷から下がると言われている。国内高炉メーカーは一部の製品で値上げを表明したが、鉄鉱石など原料に先安観があること、競合する電炉メーカーが価格を下げていることなどから、この値上げが浸透するかは不透明である。
審議結果	「建設物価」11月号、「Web 建設物価」11月号の価格動向に問題はなかった。	

以上